

青年部活動報告

- ☆ゴルフクラブリサイクル杖製作 …………… 2000年～2010年実施
- ☆八幡西区大池公園落書き消し …………… 2003年実施
- ☆高齢者住宅・住宅用火災警報器無料設置 …………… 2007年実施
- ☆チャリティーゴルフコンペ …………… 2010年～事業継続中
- ☆皿倉山イルミネーション …………… 2009年～事業継続中
- ☆八幡駅前イルミネーション …………… 2013年実施
- ☆黒崎ひびしんホールケヤキイルミネーション …………… 2014年実施
- ☆黒崎祇園山笠提燈設営 …………… 2015年実施
- ☆青年部紹介

ゴルフクラブリサイクル杖製作

2000年から2010年の10年間続いた事業です。開始当時の支部長であり現八電協の理事長である樋口さんを筆頭に青年部会員で製作された杖の本数は約3000本にも及びます。八幡東区、西区に寄贈されたこのゴルフ杖はそれぞれの市民福祉センターに送られ今日でも使用されている方々をお見かけすることがございます。

ゴルフクラブ改造杖120本を寄贈

八幡電気工事組合青年部

北九州市の八幡東区と八幡西区の市民福祉センターに、八幡電気工事組合青年部が、約120本のゴルフクラブを改造した杖を寄贈した。杖は、ゴルフクラブのヘッド部分を削り、先端を滑り止めのゴムで装着し、グリップ部分に手首にまわす紐を通し、シャフトの部分に夜間車のライトで反射するテープを巻き付けている。

杖の長さも、女性から男性まで幅広く使用できるように、さまざまな長さの杖を製作した。杖の重さも、軽量化を図っている。

杖の製作には、青年部員が協力している。杖の製作には、青年部員が協力している。



寄贈されたゴルフクラブ改造杖。北九州市八幡東区と八幡西区の市民福祉センターに、八幡電気工事組合青年部が、約120本のゴルフクラブを改造した杖を寄贈した。

杖の製作には、青年部員が協力している。

2001年(平成13年)5月25日(金曜日)

2001年(平成13年)5月25日(金曜日)

120本、八幡東区に寄贈

不用ゴルフクラブつえに改造

八幡電気工事組合青年部の市福祉センターを千朝朝、先編部が、約120本のゴルフクラブを改造した杖を寄贈した。杖は、ゴルフクラブのヘッド部分を削り、先端を滑り止めのゴムで装着し、グリップ部分に手首にまわす紐を通し、シャフトの部分に夜間車のライトで反射するテープを巻き付けている。

杖の製作には、青年部員が協力している。

杖の製作には、青年部員が協力している。



不要になったゴルフクラブの先端を切断し、その先に滑り止めのゴムを装着グリップ部分に手首にまわす紐を通しシャフトの部分に夜間車のライトで反射するテープを巻き付けています。

クラブの番手で大きさはバラバラですが小柄な女性から体の大きな男性まで幅広く使用でき、しかも軽量に仕上がっています。

チャリティーゴルフコンペ

- ◆2010年 第1回チャリティーゴルフコンペ
開催場：若松ゴルフクラブ 参加人数：42名 募金総額：123,500円
- ◆2011年 第2回チャリティーゴルフコンペ
開催場：福岡国際カントリークラブ 参加人数：61名 募金総額：136,500円
- ◆2012年 第3回チャリティーゴルフコンペ
開催場：福岡国際カントリークラブ 参加人数：65名 募金総額：88,500円
- ◆2013年 第4回チャリティーゴルフコンペ
開催場：福岡国際カントリークラブ 参加人数：70名 募金総額：70,000円
- ◆2014年 第5回チャリティーゴルフコンペ
開催場：福岡国際カントリークラブ 参加人数：65名 募金総額：65,000円
- ◆2015年 第6回チャリティーゴルフコンペ
開催場：福岡国際カントリークラブ 参加人数：84名 募金総額：84,000円
- ◆2016年 第7回チャリティーゴルフコンペ
開催場：福岡国際カントリークラブ 参加人数：79名 募金総額：79,000円

募 金 先

- 2010年 「宮崎牛口蹄疫被害」に対し宮崎県工組青年部中村会長に123,500円の義援金を手渡しでお贈りする。
- 2011年 心臓病を患う麻生修希ちゃんに「修ちゃんを救う会」を通じて136,500円の募金を行う。
- 2012年 「東日本大震災」に対し宮城県工組青年部杉山部会長にこの年製作した「絆ワッペン」の売上とあわせて200,000円の義援金を手渡しでお贈りする。
- 2016年 2013年から今日までに貯まったチャリティー金を地域福祉の向上に役立つ活動に使われることを願い、北九州市地域福祉振興基金（ひまわり基金）へ300,000円寄贈する。



写真は本庁での贈呈式の様子。北橋北九州市長へ手渡しで贈呈しました！

皿倉山イルミネーション

八電協青年部のボランティア活動と言ったら皿倉山イルミネーションです。ご存知の方も多くいらっしゃると思います。2009年から取組んで今年で8年目になります。年を追うごとにクオリティーも増し青年部として自慢できる事業活動です。今後も継続し北九州市の冬の風物詩になれるよう取り組んでまいります。

2010年

2年目の年【流れ星】設営



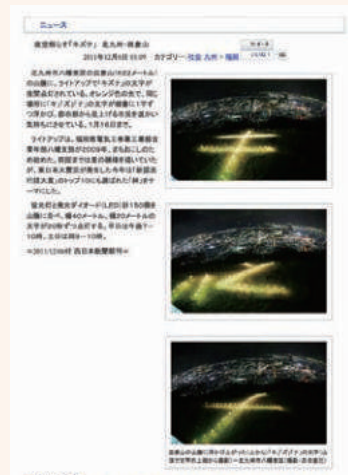
2011年



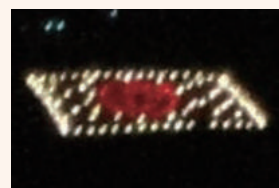
この年から一部LED電球を使用



新聞紙面、ネットニュースで取り上げられる。



震災の年【キズナ】灯る!

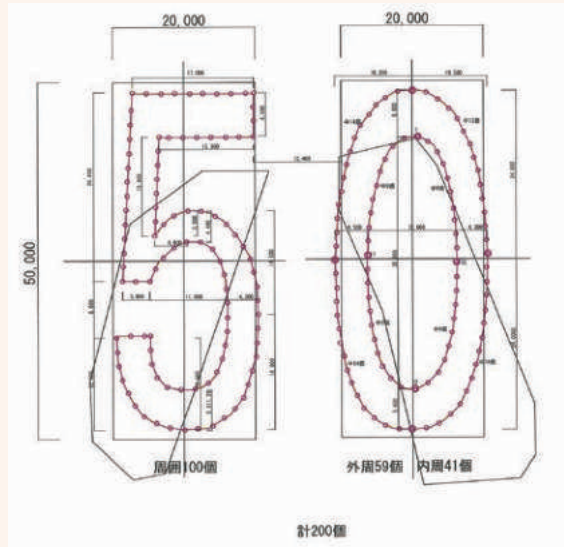


キ⇒ズ⇒ナ⇒国旗の順に点灯!!

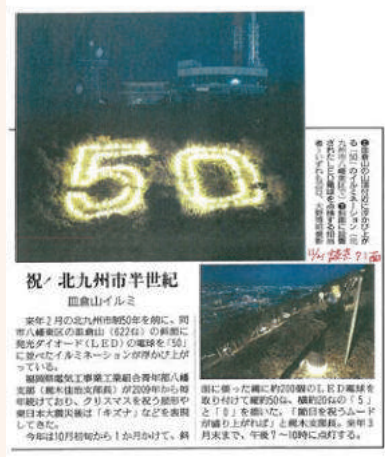
2012~2013年

2012年は翌年50歳を迎える北九州市の「50」に着目し、これまでとは違う「八文字焼き」のキャンパスでイルミネーションを展開。

急こう配のこの場所での設営作業は困難を極めました。その分掲げたサインもこれまで以上によく見え、たくさんの方々に山頂のイルミネーションをご覧いただくことができました。



2013年2月10日市制50周年周年賞を北橋市長より授与される梶木支部長。



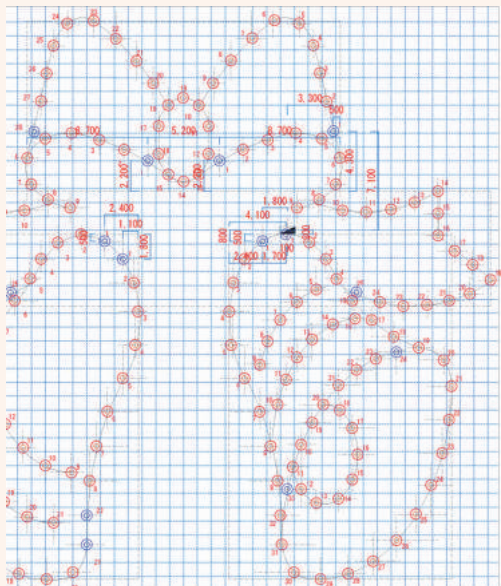
「50」のイルミは2012年11月16日の点灯式から2014年2月9日まで点灯されました。

新聞・メディアでも数多く取り上げられ、また地元九州国際大学からも我々の活動に関心を持って頂き大学で講話を行うなど、電気業界だけに留まらず、たくさんの人との出会いがありました。

2014年

この年はズバリ「クリスマス」を意識し山頂にクリスマスベルを掲げる。

18時からの点灯で定刻になると左右のベルが交互に点滅する仕掛けに！（左に光って見えるのが天空ドーム）

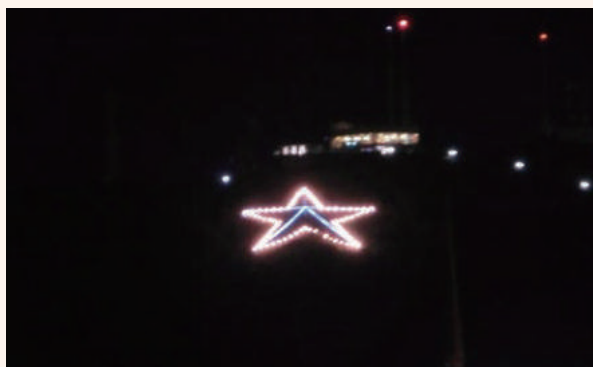


八幡駅前イルミネーション点灯式の様子



2015年

2015年はたくさんの青年部の協力もあり1日で設営完了!!
年々クオリティーが上がってきました。



2010年の「流れ星」が設営場所が緩やかな傾斜であった為、その形に見とれず、「イカのゲソ」に見間違われたといった経緯もあり、そのリベンジを込め、再度「星」チャレンジ！。今度は八文字焼きの場所、また今回星の中央に4mのポールを建込み放射状にチューブライトを新たに設置、30分刻みで星の輪郭が点滅する仕掛けに!!冬の夜空に今度こそ「星」を掲げる事ができました。

～編集後記～



八幡電気工事業協同組合創立70周年を記念し、記念式典と併せて記念誌を発行することになりました。この記念誌を作成するにあたり総務・記念誌部会を立上げ、前回は平成8年から今日までの軌跡をたどり、数少ない資料を元に編集し無事に発行までこぎつけることができました。組合員皆様には写真撮影、取材等のご協力、誠に有難うございました。

あれから20年、組合員の数こそ100数社と変わりはありませんが、今も一線で活躍される諸先輩方や2代目に受け継がれた方々、新規に加入された方々と組合員の顔ぶれも本誌で拝見するだけでずいぶん変わった様に思われます。

またこの20年間で我々のおかれている電気業界も刻々と変化を求められています。火力、原発依存から再生可能エネルギー（太陽光発電、風力発電、地熱発電等々）へ、照明も白熱球からLEDへ、暮らしの中での電気の見える化など20年前に想像できなかったことが多岐にわたって移り変わっています。

この先どのように変化していくのか、今後10年、20年と時代を先読みし組合の果たす役割（ビジョン）を会員の皆様に理解浸透させ、ますますの発展と共に我々の仕事に結びついていく様、組合に期待します。

本誌発行にあたり、ご協力頂きました方々、及びご協賛頂きました皆様に感謝すると共に、厚く御礼申し上げ、編集後記とさせていただきます。

総務・記念誌部会長 木村 武徳
総務・記念誌部会副会長 渡邊 博
総務・記念誌部会委員一同

